

【ドイツ語学専攻受験を希望する諸君へ】

基本文献リスト

大学院に進学を希望する学生が読んでおいたほうが良いと思われる基本文献をリストアップしました。
大学院で専門研究を志す学生は、下記の各専門分野の中から自分の関心に近いテーマの基本文献を
できるだけ読んで、基礎力を養っておくことをお勧めします。

(注意) 書式に関して：各専門分野の方式（各先生）によって違いがあるため不統一です。
皆さんが論文を執筆する際は、各分野の書き方に従って統一してください。

【政治・経済・歴史・社会】

三島憲一『戦後ドイツ—その知的歴史—』（岩波新書 158）岩波書店、1991 年
大西健夫（編）『ドイツの政治』早稲田大学出版部、1992 年
大西健夫（編）『ドイツの経済』早稲田大学出版部、1992 年
大西健夫（編）『ドイツの社会』早稲田大学出版部、1992 年
姫岡とし子『統一ドイツと女たち——家族・労働・ネットワーク』時事通信社、1992 年
ゲアハルト・リッター、木谷勤他訳『社会国家』晃洋書房、1993 年
イアン・ブルマ、石井信平訳『戦争の記憶—日本人とドイツ人—』TBS ブリタニカ、1994 年
高橋俊夫、大西健夫（編）『ドイツの企業』早稲田大学出版部、1997 年
走尾正敬『現代のドイツ経済—「統一」から EU 統合へ』東洋経済新報社、1997 年
矢野久／アンゼラム・ファウスト（編）『ドイツ社会史』有斐閣、2001 年
伊藤定良『ドイツの長い 19 世紀—ドイツ人・ポーランド人・ユダヤ人—』青木書店、2002 年
ハンス＝カール・ルップ、深谷満男／山本淳訳『現代ドイツ政治史』彩流社、2002 年
平野洋『伝説となった国・東ドイツ』現代書館、2002 年
福島清彦『ヨーロッパ型資本主義』講談社、2002 年
大原まゆみ『ドイツの国民記念碑 1813 年—1913 年—解放戦争からドイツ帝国の終焉まで—』世界美術双書、2003 年
戸原四郎・加藤榮一・工藤章（編著）『ドイツ経済——統一後の 10 年』有斐閣、2003 年
内藤正典『ヨーロッパとイスラーム—共生は可能か—』（岩波新書 905）岩波書店、2004 年
三島憲一『現代ドイツ—統一後の知的軌跡』（岩波新書 994）岩波書店、2006 年
松田雅央『人が主役のまちづくり』学芸出版社、2007 年
望田幸男（編著）『近代日本とドイツ—比較と関係の歴史学—』ミネルヴァ書房、2007 年
森井裕一『現代ドイツの外交と政治』信山社、2008 年
近藤正基『現代ドイツ福祉国家の政治経済学』ミネルヴァ書房、2009 年
田村信一・原田哲史『ドイツ経済思想史』八千代出版、2009 年

【文学・文化・思想・芸術】

ヨーハン・ヨアヒム・ヴィンケルマン（沢柳大五郎訳）：『ギリシア芸術模倣論』（座右宝刊行会）1948 年

『ドイツ表現主義』全5巻（河出書房新社）1971-72年
 岩淵達治：『反現実の演劇の理論』（河出書房新社）1972年
 高階秀爾：『近代絵画史（上）（下）』（中公新書385、386）中央公論社、1975年
 池田浩士：『ファシズムと文学』（白水社）1978年
 E. カッシーラー（中村啓ほか訳）：『理念と形姿 —ゲーテ・シラー・ヘルダーリン・クライスト—』（三修社）1978年
 三宅理一：『ドイツ建築史（上）（下）』（相模選書）相模書房、1981年
 H. グロイル（平井ほか訳）：『キャバレーの文化史』全2巻（ありな書房）1983/88年
 E. ショースキー（安井琢磨訳）：『世紀末ウィーン —政治と文化』（岩波書店）1983年
 19世紀ドイツ文学研究会：『ドイツ近代小説の展開』（郁文堂）1988年
 ヤン・ベルクほか（山本尤ほか訳）：『ドイツ文学の社会史 — 1918年から現代まで』上・下巻（法政大学出版局）1989年
 早崎守俊：『グルッペ四十七史 —ドイツ戦後文学史にかえて—』（同学社）1989年
 ロタール・ケーン（藤本ほか訳）：『文学と＜20年代＞』（ありな書房）1990年
 手塚富雄／神品芳夫：『増補 ドイツ文学案内』（岩波文庫35-003-1）岩波書店、1993年
 三島憲一編訳：『戦後ドイツを生きて —知識人は語る—』（岩波書店）1994年
 藤本淳雄（他）：『ドイツ文学史』（第2版）東京大学出版会、1995年
 S. クラカウアー：（丸尾定訳）：『カリガリからヒトラーへ』（みすず書房）1995年
 ヨアヒム・ブームケ（平尾浩三ほか訳）：『中世の騎士文化』（白水社）1995年
 G. フライターク（井口省吾訳）：『ドイツ社会文化史』名古屋大学出版会、1996年
 岩淵達治ほか：『ドイツ演劇・文学の万華鏡』（同学社）1997年
 恒川隆男ほか：『文学にあらわれた現代ドイツ —東西ドイツの成立から再統一まで』（三修社）1997年
 ヴィンフリート・フロイント（深見茂監訳）：『ドイツ幻想文学の系譜 —ティークからシュトルムまで—』（彩流社）1997年
 マックス・フォン・ベーン（飯塚信雄訳）：『ドイツ十八世紀の文化と社会』（三修社）2001年
 谷川道子：『ドイツ現代演劇の構図』（論創社）2005年
 廣野由美子『批評理論入門 「フランケンシュタイン」解剖講義』中央公論新社（中公新書）、2005年
 三谷研爾（編）：『ドイツ文化史への招待—芸術と社会の間』大阪大学出版会、2007年
 ハインツ・シュラッファー『ドイツ文学の短い歴史』和泉雅人・安川晴基訳、同学社、2008年

Deutsche Literatur in 16 Bänden. (Reclam) 1976

Walther Dürr: *Das deutsche Sololied im 19. Jahrhundert. Untersuchungen zu Sprache und Musik.* Wilhelmshaven: Heinrichshofen 1984

Max Horkheimer/Theodor W. Adorno: *Dialektik der Aufklärung.* (Fischer) 1988

Jürgen Habermas: *Die Moderne, ein unvollendetes Projekt.* (Reclam) 1992

Wilhelm Worringer: *Abstraktion und Einfühlung.* (Piper) 1992

Volker Bohn: *Deutsche Literatur seit 1945.* Frankfurt am Main (Suhrkamp) 1993

Ralf Schnell: *Geschichte der deutschsprachigen Literatur seit 1945.* Stuttgart (Metzler) 1993

Jürgen Habermas: *Theorie des kommunikativen Handelns*. (Suhrkamp) 1995
 Rolf Dammann: *Der Musikbegriff im deutschen Barock*, Laaber-Verlag 1995
 Jochen Schulte-Sasse, Renate Werner: *Einführung in die Literaturwissenschaft*.
 Stuttgart (UTB) 9. Aufl. 1997
 Kurt Rothmann: *Kleine Geschichte der deutschen Literatur*. (Reclam) 2001
 Manfred Mai: *Geschichte der deutschen Literatur*. (Beltz & Gelberg) 2001
 Sabine Becker, u.a.: *Grundkurs Literaturwissenschaft*. Ditzingen (Reclam) 2006
 Sabine Hake: *German National Cinema*. Second Edition. London/New York (Routledge) 2008
 Walter Benjamin: *Das Kunstwerk im Zeitalter seiner technischen Reproduzierbarkeit*. (Suhrkamp) 2010

【言語学】

鈴木孝夫(1973)『ことばと文化』(岩波新書 C-98) 岩波書店
 鈴木孝夫(1996)『教養としての言語学』(岩波新書 460) 岩波書店
 山下仁・野呂香代子(編)(2009)『「正しさ」への問い』東京: 三元社
 Bourdieu, Pierre (1991) *Language and Symbolic Power*. Cambridge: Polity Press.
 Jarren, Otfried / Ulrich Sarcinelli / Ulrich Saxer (Hrsg.) (1998): *Politische Kommunikation in der demokratischen Gesellschaft. Ein Handbuch*. Opladen: Westdeutscher Verlag.
 Tognini-Bonelli, Elena (2001): *Corpus linguistics at work*. Amsterdam: Benjamins (Studies in corpus linguistics, 6).
 Girth, Heiko (2002): *Sprache und Sprachverwendung in der Politik. Eine Einführung in die linguistische Analyse öffentlich-politischer Kommunikation*. Tübingen: Niemeyer.
 Ammon, Ulrich (Hg.) (2004) *Die Deutsche Sprache in Japan. Verwendung und Studium*. München: Iudicium
 Peter Ernst (2004): *Deutsche Sprachgeschichte. Eine Einführung in die diachrone Sprachwissenschaft des Deutschen* (Uni-Taschenbücher basics M).
 Snow, David / Sarah A. Soule / Hanspeter Kriesi (eds.) (2004): *Blackwell Companion to Social Movements*. Malden, MA and Oxford, UK: Blackwell Publishing.
 Thomas Bein (2005): *Germanistische Mediävistik: Eine Einführung (Grundlagen der Germanistik*. Erich Schmidt).
 Schmidt Verlag, 17,80 E Edmondson, Willis / House, Juliane: (2006) *Einführung in die Sprachlehrforschung* Uni-Taschenbücher S , 19,90
 Roche, Jörg (2008): *Fremdsprachenerwerb – Fremdsprachendidaktik*, UTB basics, 16,90 E
 Rucht, Dieter/ Roland Roth (Hrsg.) (2008): *Die Sozialen Bewegungen in Deutschland seit 1945. Ein Handbuch*. Frankfurt a.M./New York: Campus Verlag.
 Huneke, Hans-Werner / Steinig, Wolfgang (2009): *Deutsch als Fremdsprache: Eine Einführung*, Erich
 Blommaert, Jan (2010) *The Sociolinguistics of Globalization*. Cambridge: Cambridge University Press.

【外国語一般】

松野和彦、吉島茂編『外国語教育 ―理論から実践まで―』朝日出版社、2001 年

吉島茂、大橋理枝（他）訳・編『外国語学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠』朝日出版社、2004 年

藤本一勇『外国語学』岩波書店、2009 年